

# 教 師 ノ ー ト

|  |   |
|--|---|
| 日付   | 2021年 7月 4日   |
| 単元   | 基本的な教理・3  |
| テーマ  | 洗礼の意味   |
| タイトル   | なぜ洗礼を受けるのでしょうか  |
| テキスト   | ローマ6:3-11   |
| 参照箇所   | マタイ 28:18-20、使徒 2:37-41、ローマ 10:10、1ペテロ2:24、1ペテロ3:21、ローマ6:3-11、使徒 8:38 |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)   | ローマ6:11 or マタイ28:19   |
| AG 日曜学校教案参照箇所  |   |
| <p><b>□導入</b></p> <p>洗礼式の大切さと素晴らしさを生徒たちに考えてもらえる導入を心がけましょう。「洗礼式を見たことある？」と質問をしても良いと思います。「洗礼式を見てどんな気持ちでした？」と聞いてもよいでしょう。導入で大切なことは、「クリスチャンにとって洗礼は素晴らしい」ということを印象づけることです。又洗礼式を見たことがない生徒に対しては、自分の洗礼式の写真を見せてもよいでしょう。そして教師自身の洗礼を受けた感動と恵みを語ることも子供たちに洗礼の素晴らしさを伝えることができます。</p> <p><b>□ポイント1 洗礼は悪い自分のお葬式です</b></p> <p>「私たちの心の中には、神様の願わないところ(罪)があります。罪はどんなに隠しても、隠し切れない、また自分で消そうとしても消すことができないものです。結論を言うならば、私たちは罪からは逃げられない、絶望状態なのです」。</p> <p>☞生徒たちに自分の罪を認識させることは非常に大切です。罪の問題とその解決について真実に扱っているのがキリスト教の特徴です。ですから仮に他宗教の背景がある子供がいたとしても、罪の赦しのアプローチは、たいへん有効です。(前もって教師が罪の性質のリストを画用紙などに書いて作成してもよいでしょう。そして生徒たちに自分の問題として考えさせるのです)</p> <p>「しかし父なる神様は私たちが罪から救うために、一人子イエス・キリストを送って下さいました。彼は私たちのすべての罪を身代わりとして背負い十字架で死んでくださったのです。イエス様を信じた人は、自分の罪に対して死んで葬られたのです(お葬式です)。洗礼はこの真理の象徴(シンボル)です。」</p> <p>☞イエス様の罪の赦しの素晴らしさを生徒たちに伝えましょう。それにはまず、教師自身が日々自分の罪を十字架につけ、赦しの体験をすることが大切です。教師の信仰の理解しか、子供たちに伝えることはできませんから、十字架の奥義を祈りつつ、神様に助けられて語らせていただきましょう。</p> <p><b>□ポイント2 洗礼はイエス様といっしょによみがえる誕生日です</b></p> <p>「イエス様は十字架にかかられた後、死と罪に打ち勝たれて、3 日目によみがえられました。イエス様を信じて、霊的に一つになった私たちは、罪に対して死んだだけでなく、イエス様が復活されたように、新しい歩みをすることが出来るようになったのです。ですから洗礼は、新しく生まれる誕生日のようなものです。」</p> <p>☞低学年の生徒には、「イエス様と一緒に生きたい人!？」と質問すれば素直に反応してくれます。しかし高学年になると、自分の嫌いなところがあったり、自分を変えたい、何とかしたいと考えている生徒も多</p> |   |

いですから、「罪に死んでキリストによって生きる」ならば、自分ができないところも変えてくださる、というクリスチャン生活の聖めの部分を語ることも効果的です。

### □ポイント3 洗礼を受けることはイエス様が望んでおられることです

救いは、究極的にはイエス様を信じるだけで与えられます。同時にイエス様は洗礼を受けるようにと語っておられます(マタイ28章19節の、大宣教命令の中でもイエス様は洗礼を命じられておられます)。イエス様も模範として洗礼を受けられ、弟子たちも洗礼を受けたことを考える時に、イエスさまを信じるならば、自然と洗礼を受けたいくなるものです。その気持ちを生徒から引き出して上げましょう。

信仰生活は洗礼で終わるものではありません。生涯を通じてイエス様の喜ばれることを選び取る生活なのです。ですから、イエス様の喜ばれることを選び取る第一歩として、洗礼を受けることは意義があります。生徒たちに、「イエス様が喜ばれることをしたい人」と質問してみるのも良いでしょう。最後に、教会によっては洗礼を受ける年齢に制限がある場合があります。事前に牧師先生や教会のリーダーに聞いておくとい良いでしょう。どちらにしても、生徒たちに祈りつつ洗礼を受けることを待ち望む気持ちを持たせることが大切なことです

### □結論 イエス様を信じたら、洗礼を受けられるようにお祈りをしましょう。イエス様の喜ばれることをしていきましょう。

### □適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

あなたはイエス様を信じていますか。イエス様はあなたのために十字架にかかれ、死んでよみがえられたのです。それはあなたの罪を赦し、あなたが素晴らしい人生を送ることができるためなのです

洗礼は、罪のお葬式であり、イエス様と一緒に生きる誕生日のようなものです。イエス様はあなたを愛しておられるので、あなたが洗礼を受けて、イエス様と一緒に生きることができることを願っています。洗礼が受けられるようにお祈りをしましょう。もしすでに洗礼を受けたお友達は、受けていないお友達に、洗礼の素晴らしさを伝えてあげましょう。そしてイエス様のお弟子として、イエス様の喜ばれることをしていきましょう。